

寄附者

ふるさと納税ポータルサイト経由で寄附した後



【インターネット回線】 通信暗号化

①ワンストップ特例申請書の送付

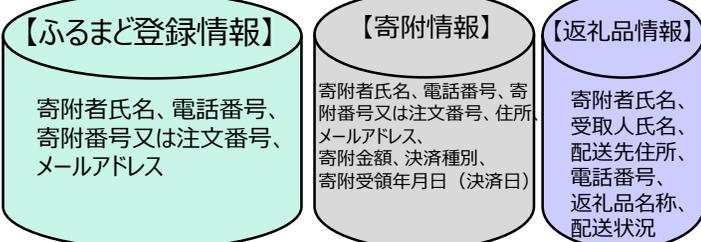
②ふるまどへの登録

④ふるまどサイト経由でIAMをダウンロードし、マイナンバーカードを用いて個人認証を行い、ワンストップ特例申請を行う

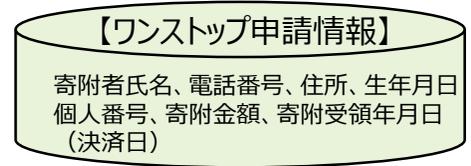
シフトプラス株式会社

(プライバシーマーク・ISMS認証取得、LGWAN-ASP登録事業者)

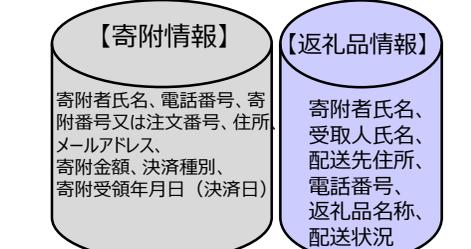
ふるさと納税総合窓口システム
「ふるまど※1」



公的個人認証アプリ
「IAM」※2

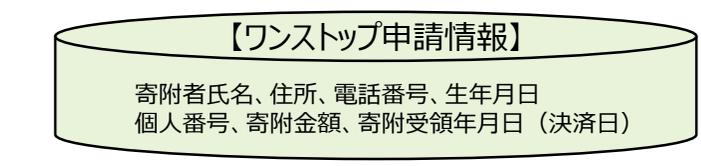


ふるさと納税管理システム
「LedgHOME」



※ふるさと納税ポータルサイト経由で寄附をした際の寄附情報及び返礼品情報が保存されている。

ワンストップ特例申請管理システム
「motiONE」



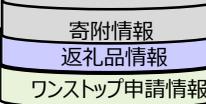
【LGWAN回線】

⑦ワンストップ特例申請情報の提供 (毎年1月下旬)

データはLGWAN回線を通じてシステムからダウンロード

新宿区

【区イントラネット】



- ・ 特定相手以外との通信不可
- ・ ネットワーク機器やサーバの制御
- ・ 通信内容の暗号化
- ・ 外部からの攻撃防御 (ファイアウォールの設置、サーバの要塞化、侵入検知、セキュリティパッチの適用等)
- ・ ウィルス対策
- ・ 最新のパターンファイルの適用
- ・ ID/パスワード等認証
- ・ ファイルのパスワード設定
- ・ アクセス制御
- ・ システムネットワーク状態等の監視
- ・ アクセスログ取得
- ・ サーバ冗長化 ・ バックアップ
- ・ 入退室管理
- ・ 国内法が適用されるサーバ環境

※1 寄附者がスマホやパソコンから、複数自治体の寄附履歴やワンストップ特例申請状況をまとめて管理することができるシステム。

※2 公的個人認証用のアプリで委託先であるシフトプラスが開発・提供するもの。